



ほ う き サ ん 月

2016年 棟本673 存仁寺

「和訳正信偈」

救わるる
値いて
弘誓に
一生 悪を
造るとも



九月に入りました。お盆も終わりました、花火も終わりました、夏休みも終わりました。盛んに鳴いていたセミの声も、コオロギやクツワムシの夜の虫たちの声の響きに移ってきました。秋の気配を感じられる頃、夏が終わる寂しさを感じます。人生も何時しか過ぎてゆく中、血氣盛んな夏の世代から古いの秋を迎えていくことに、哀愁を感じる方もおられることでしょう。しかし、寂しさだけではありません。

秋は「実りの秋」です。現在は、お米の品種も改良され、取り入れも終わっているところも多くなりました。「実るほど 頭を垂れる 稲穂かな」と詠まれることなく、実ったお米の重さで稻穂が頭を垂れている光景があります。私たちも、人生の秋にはみのりあるように頭がさがる姿勢でありたいものです。振り返ると、今私がここにいることは不思議なことと思う事はないですか。よく「おかげさんで」と言葉が使われますが、実際に重たい言葉です。人と生れ、過ごしてきた時間の中、たくさんの出会った人たちがいる。わたしが存在しているのは、多くのお育てをいただいてきました。先ほどの「お米」では、八十八の手間がかかるということが漢字に現れていると云われます。

自然、人の手など様々にはたらきに依つてお米ができるからでしょう。同じように「人」とは、歩いている姿を側面からあらわした姿を文字にしたと云われますが、「もちつ・もたれつ・たがいに依らにや・人という字は成り立たぬ」と聞かせていただいたことがあります。人として生きることは、お互いが支え、支えられながら生業をしている、誰かのお世話になりながります。人として生きることは、お互いが支え、支えられながり生きる力、元気がでます。手を合わすことの大切さ、

礼拝の尊さが味わえてまいります。

住職

倒れかかった身体同士で互いを支えあえたら
人という文字になる 支えられたり支えたり
人は一人では生きられないと気づくもの
きっとあなたとふたり 生きてゆくと決めた

水篤刈る信濃 月は田毎に 残菊薰る 秋麗

「秋麗」 さだまさしさん

「一生悪を造るとも 弘誓に値いて 救わるる」

親鸞聖人が書かれた『唯信鈔文意』という書物に、「自力のこころをすつといふは、やうやうさまざまの大小の聖人・善惡の凡夫の、みづからが身をよしとおもふころをして、身をたのまず、あしきこころをかへりみず」という一文があります。仏の喚び声に身をまかせるということは、悪しき心を小賢しくかえりみないということだ、と。たしかに反省というのは一見すると我が身の悪や罪を深く悔いている行為のようですが、実際に反省している自分を思い返してみると、それは自分を免罪するための手続きでしかないことが多いように思われます。反省しているのだからもういいじやないかと。そして自分が為したことを忘れ、また同じことを繰り返します。それが本当にできるのは、弘誓という阿弥陀さまの願いによるすくいの場によってこそです。そこから開かれるすくいは、「ありのままの自分」との和解に他なりません。二〇一六年法語カレンダー「心に響く言葉」より

9月の行事

- 1日(木) 6時30分 おあさじ
13時30分 コーラス 
- 3日(土) 鈴鹿組ご縁づくりウォーク
- 14日(水) 19時 総代会
- 15日(木) 13時30分 無量寿会例会
- 16日(金) 6時30分 おあさじ
- 20日(火)~21日(水) 鈴鹿組仏婦念佛奉仕
19日~25日 秋季彼岸
- 25日(日) 19時 仏壯例会

「平和の鐘」 9月18日、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要では、宗門として恒久平和への願いを新たにするため「平和宣言」を行い、さらに「平和の鐘」を撞きます。平和への決意を、日本国内外に響かせ届けたいという願いのもとはじめられました。各寺におきましても、法要と同時刻（13：15～13：20）に、梵鐘（または喚鐘など）を撞いていただきますようお願ひいたします。

浄土真宗本願寺派

宗派・教区・鈴鹿組関連など

- 9月6日(火) 鈴鹿組僧侶回門徒推進員研修会
中勢組僧侶寺族研修会
「葬儀とは」正覚寺様にて
- 9月8日(木) 19時 鈴鹿組仏教婦人会
役員会 存仁寺
- 9月18日(日) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
鈴鹿組第20期門徒推進員養成連続研修会
開講式 楠平尾 専念寺様 9時
- 9月24日(土) 13時30分・18時30分
25日(日) 13時30分 津市丸の内
正覚寺永代経法要 奈良 勝光寺 花岡静人師

第6回“大人の寺小屋”開催のご案内

日時：平成28年9月30日(金)19:00～

場所：津市丸の内 正覚寺様

『伊賀の風土と我が農業』

語る人：中川 甫氏



10月の行事

- 1日(土) 6時30分 おあさじ
- 1日(土)～2日(日)秋季永代経法要
- 2日(日) 17時 世話方会
- 6日(木) 13時30分 コーラス 
- 16日(日) 6時30分 おあさじ

秋の法座〈秋季永代経法要〉

10月1日(土) 午後1時30分

10月2日(日) 午後1時30分

法話 岐阜 慶圓寺 謙 西賢師

この度初めてのご縁に合わせていただきます。先生は真宗大谷派のご住職、現在は岐阜聖徳学園大学で教鞭をなされています。また、臨床心理士・学校心理士もなさってみえ、全国各地に講演に行かれます。

であります。ありがとうございましたこと誠にありがとうございます。

受け継がれしいのちのバトン

受け継がれしお念佛のみ教え

今を生かさせていただくことに思いを寄せ
お同行皆さん、ともに

おつとめさせていただきましょう

ご聴聞させていただきましょう

芸濃町仏教会旅行のお知らせ

どなたでもご参加ください

『永平寺参拝と羽二重餅の古里』

日 時 10月12日(水)

出 発 7時30分

集合場所 芸濃総合文化センター

参加費 8000円

締 切 9月23日までお寺に申し込み下さい



お彼岸さんをを迎えます。お墓やその周辺や
お仏壇をきれいにしましょう。
心のお洗濯にもなりますね。

